

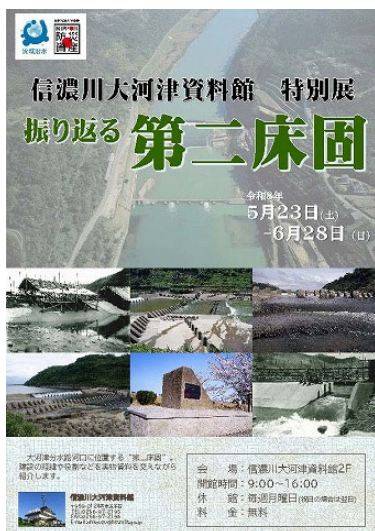
NIPPON防災資産



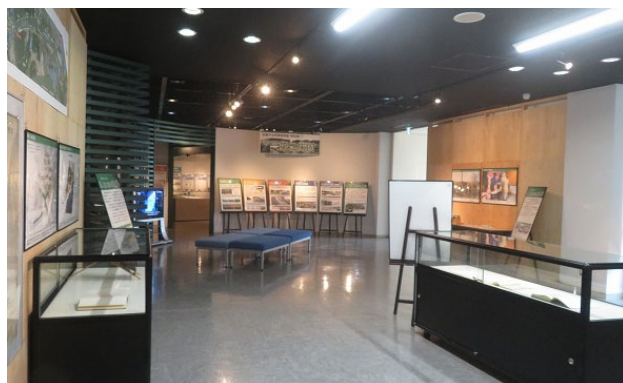
特別展

振り返る「第二床固」

第二床固の改築事業が進められていること、資料館玄関前に建立した記念碑に第二床固の一部を利用していることを踏まえて、特別展を開催しました。



期間：令和8年5月16日(土)～6月28日(日)
会場：信濃川大河津資料館2F展示スペース
主催：信濃川河川事務所



昭和6年に建設され、河床低下を抑制する役割を果たしている第二床固。その役割やあゆみなどを紹介するためにパネル約30枚と実物資料約10点を展示しました。



大河津分水路の洗堀防止だけでなく、河口部の地すべり抑制にも大きな役割を果たしている事を紹介しました。



河口部の狭さを確認できる100年前の平面図や、第二床固建設のきっかけとなった自在堰陥没の断面図等も展示しました。



第二床固は改築事業が進んでいます。撤去されたバツフルピアは記念碑となり、コンクリート片はお守りになりました。

来場者の声



・“床固（とこかため）”という言葉を知らなかったのですが、大河津分水にとって大切な構造物だということがわかりました。

・「にとこ」という名称は第二床固を意味するものなんですね。